

津島市民病院 ボランティア会



津島市民病院ボランティア会は、平成11年に発足し、現在は、約60名の方が元気に活動しています。

津島市民病院が、地域の中核病院として、また、地域に開かれた医療機関となるよう、地域住民としてのボランティア活動を通して「明るくさわやかな病院」を目標にお手伝いをしています。



【 活動案内 】

★ 活動日 月曜日から金曜日（休日を除く）

* 午前の部→午前9時から午前11時30分

* 午後の部→午後1時30分から午後3時30分

午前と午後の2時間程度を2人から3人がグループになり、おおむね2週間に1回の活動をしています。

★ 活動内容

* 午前の部→車椅子の患者さんの介助、各科への案内、体の不自由な患者さんの介助等

* 午後の部→各病棟から患者さんをリハビリ室へ搬送等

* その他の随時活動・・・車椅子の整備点検、病院内の生け花や縫物、アルミ缶やプルタブ回収、衛生材料の作成

* 病院イベントへの参加や親睦旅行、新年会等もあります。

【 ボランティア活動の紹介 】

外来患者さんの援助（午前の部）

診察日の毎朝正面玄関で、患者さんのお手伝いをしています。

特に、車椅子で来院される患者さんの介助や体の不自由な患者さんの対応をしています。ほんのひとときの出会いですが、さわやかな笑顔で患者さんの心が、ポッとあたたかくなるようにこころがけています。「受付の場所が分からない」「〇〇科は、どこ？」「タクシーを依頼したいのだけど・・・」といった案内や対応もしていますので、いつでもお声かけください。



リハビリ患者さんの搬送（午後部）

入院患者さんの各病棟から西病棟にあるリハビリテーション室へ車椅子搬送をお手伝いしています。搬送途中では、患者さんとのささやかな会話を楽しみつつも、安全と快適な搬送となるよう、気を付けています。



衛生材料の作成（午後部）

小児科に入院する患者さん等へ点滴をする際に、手と注射針を固定するための添え木を作っています。少しでも患者さんの痛みが和らぐように工夫をし、また、祈りながらひとつずつ丁寧に作っています。

車椅子の整備点検（午後の部随時）

市民病院内には、約160台の車椅子がありますが、タイヤの空気がぬけていたり、わずかなトラブルがあっても、動きが悪くなったり、危険が生じます。そのため、定期的に車椅子の整備点検をしています。患者さんに快適な移動をしていただくための欠かせない作業です。



病院内の生け花（午後の部随時）

病院内の数か所に生け花をしています。来院される患者さん・つきそいの方の気持ちに、少しでも癒され心が和むようにしています。患者さんから「素敵だね」「きれいだね」「心のいやしとなります」などと言われると改めてボランティア活動の素晴らしさを実感し、今後の活動の糧としています。



緩和ケア病棟でのボランティア活動（午後の部随時）

毎月2回程、午後からお茶出しをしております。コーヒー・紅茶・抹茶・かき氷などをご希望によりお菓子とともに召し上がっていただいております。患者さんとそのご家族への心のやすらぎ・なごみの場として少しでも心穏やかに、また、明るくして頂ける事を願い、心をこめてお出ししています。

「ごちそうさま」「ありがとう」の言葉で私達も元気をいただき、次回への活力・励みとしています。



アルミ缶やプルタブ回収（随時）

地域活動の一環としてアルミ缶やプルタブの回収をしています。
回収して得たお金で赤外線センサー・アラームや車椅子等の備品を寄付し、病院・患者さんに大変喜ばれています。



運営委員会（毎月第一火曜日）



寄附物品



車椅子・コールマット贈呈式 と 全体会議

会員さんインタビュー

ボランティア活動で思うこと

- ・みなさんから知識・智恵を学ばせて頂き、自分自身の成長の場である。
- ・自分の健康のありがたさを実感し、感謝の気持ちを忘れない。
- ・家族の理解と協力の大切さを感じた。
- ・患者さん、病院のドクター・看護師・職員の方々からお礼の言葉や励ましの言葉をいただき、とてもうれしい思いをしています。

「ボランティアのみなさんは、私の宝物」

相談役 殿畑 規子

午前中、来院される患者さんを玄関にて笑顔で迎え、車椅子利用の患者さんを搬送したり、支えが必要な方の杖代わりとなり各科へ案内しています。今では、顔馴染みの方もでき、所用で休んだ次の出会いの時「やっとかめ・元気・ご苦労さん！」と言葉をいただき、充実感を味わいます。

また、縫物（緩和ケア病棟のタオル帽子・病棟の袋物各種・眼科のメガネ入れ等）を仲間と一緒に、一針一針ご快復を願い作っています。ほんの些細な婆ちゃんボランティアですが、これからも元気で続けたいと思う今日この頃です。

林 敏子

ボランティアを始めてから11年がたちました。一年を通じ玄関先で患者さんに笑顔で対応しています。とても暑い日、すごく寒い日とありますが、来院される患者さんとのコミュニケーションもとれるまでになり、患者さんやご家族さんから「安心だわ・助かるわ・いつもご苦労さま・ありがとう」のお礼の言葉をかけていただくと、嬉しくなり心が暖かくなります。今では、私たちの活動が理解され、信頼されて病院になくはならない存在になっているように思います。これからも、目配り、気配り、そして感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思えます。

天野 峰子

来院される患者さん、また、ご家族さんに笑顔で声かけをし、その患者さんに応じた対応を大切に、車椅子、各科への案内等心をこめてさせて頂いています。ボランティアをしているのではなく、させて頂くという謙虚な気持ちを持ち守秘義務を守っています。医療スタッフさんやボランティアの皆さんともコミュニケーションを大切にし、理解と協力により楽しい活動をつづけていきたいと思っています。

中村 千代子

平成11年に不思議なご縁をいただき、ボランティアの方々と思いやりを持って、人と人のふれあいを大切に善意と知恵を出し合い、患者さんのニーズにあわせボランティア活動をしています。健康でボランティアが、出来ることを幸せに思っています。患者さんからの「ありがとう」の一言、病院の先生・看護師・職員の皆さんからもお礼の言葉やお礼添えをいただきますと、嬉しく心が豊かになります。ボランティアさんと又協力し、助け合っって患者さんが、市民病院へ来て心から「良かった」と言っていただけのようにしたいです。一人で出来ないことを、みんな協力し、実現させるのが、ボランティアの組織です。前会長が築き上げられましたボランティアの諸事業と素晴らしいボランティアの仲間の方々のご縁を大切に、助け合い楽しく津島市民病院ボランティア活動が、出来ることを願っています。

【津島市民病院のボランティアは、深い絆で結ばれています】

会長 濱田のぶ